



株式会社NITTAN (6493)

2023年3月期決算説明会

2023年5月31日

代表取締役社長 リ テーファン
李 太 煥

目次

1部：当社概要

2部：2023年3月期決算及び次期見通し

3部：中長期戦略及び新たなトピックスについて

第1部：当社概要について

1. 会社概要
2. 沿革
3. 事業領域
4. 生産拠点
5. 売上高及び事業セグメント別比率
6. 国内・海外の拠点別主要取引先
7. エンジンバルブ当社推定シェア(グローバル)

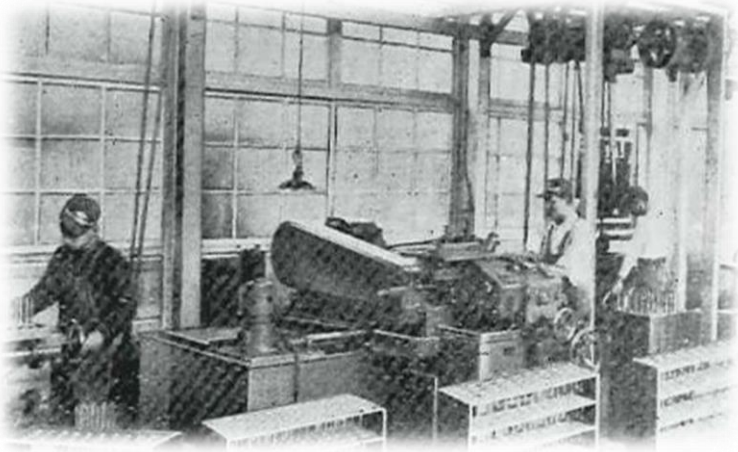
1. 会社概要



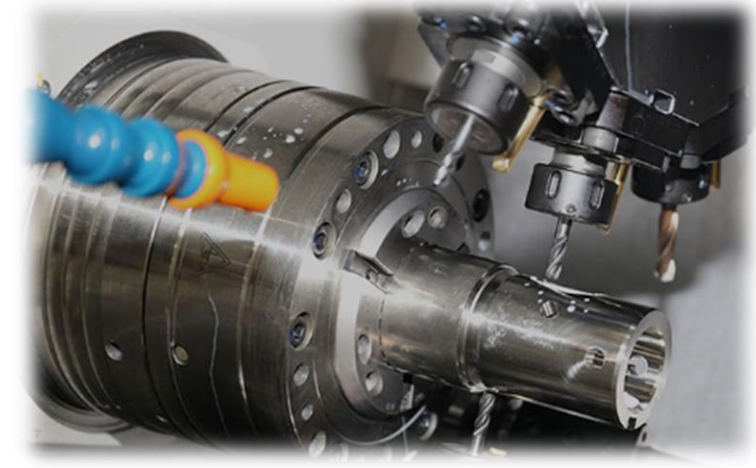
本社所在地	秦野本社：神奈川県秦野市曾屋518番地 東京本社：東京都新宿区西新宿8-4-2 野村不動産西新宿ビル2階
設立	1948年11月10日
資本金	45億3,054万円（2023年3月期）
代表者	代表取締役社長 李 太煥
従業員数	2,469名（国内：700名、海外：1,769名）
年商	連結：418億円（2023年3月期）



2. 沿革 since 1948 → since 2022

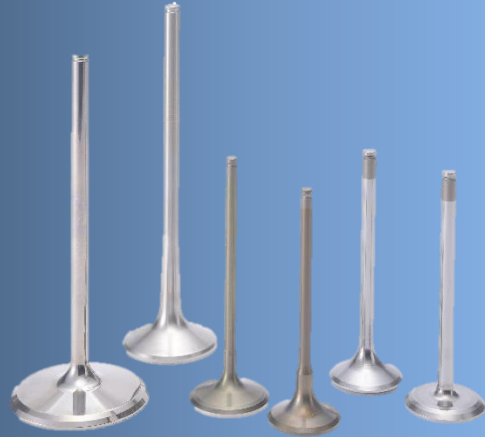


長年培った鍛造・溶接・加工技術をコア技術として発展
'22年4月1日から社名を「株式会社NITTAN」に変更

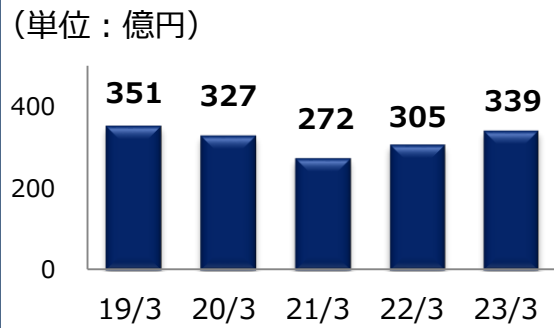


3. 事業領域

小型エンジンバルブ事業



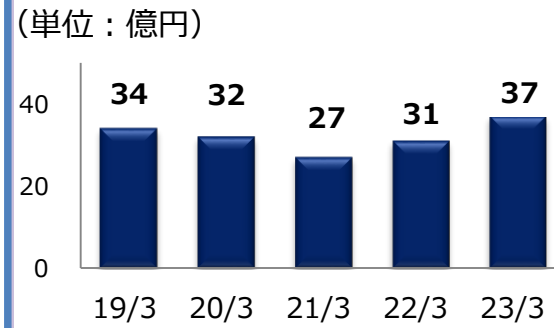
小型エンジンバルブ事業売上高（連結）



船用部品事業



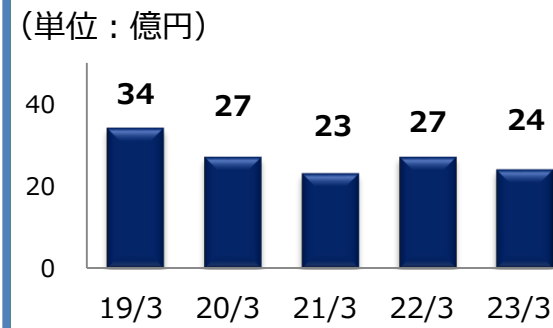
船用部品事業売上高（連結）



歯車事業

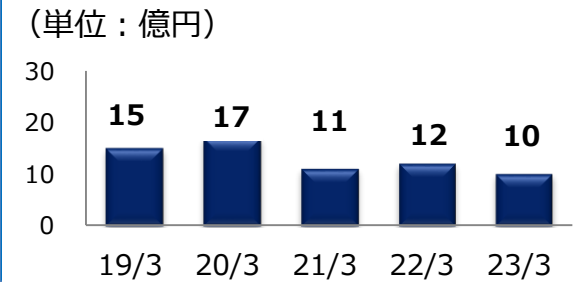


歯車事業売上高（連結）



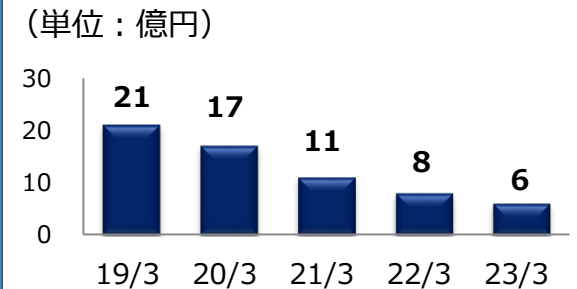
PBW事業

PBW事業売上高（連結）



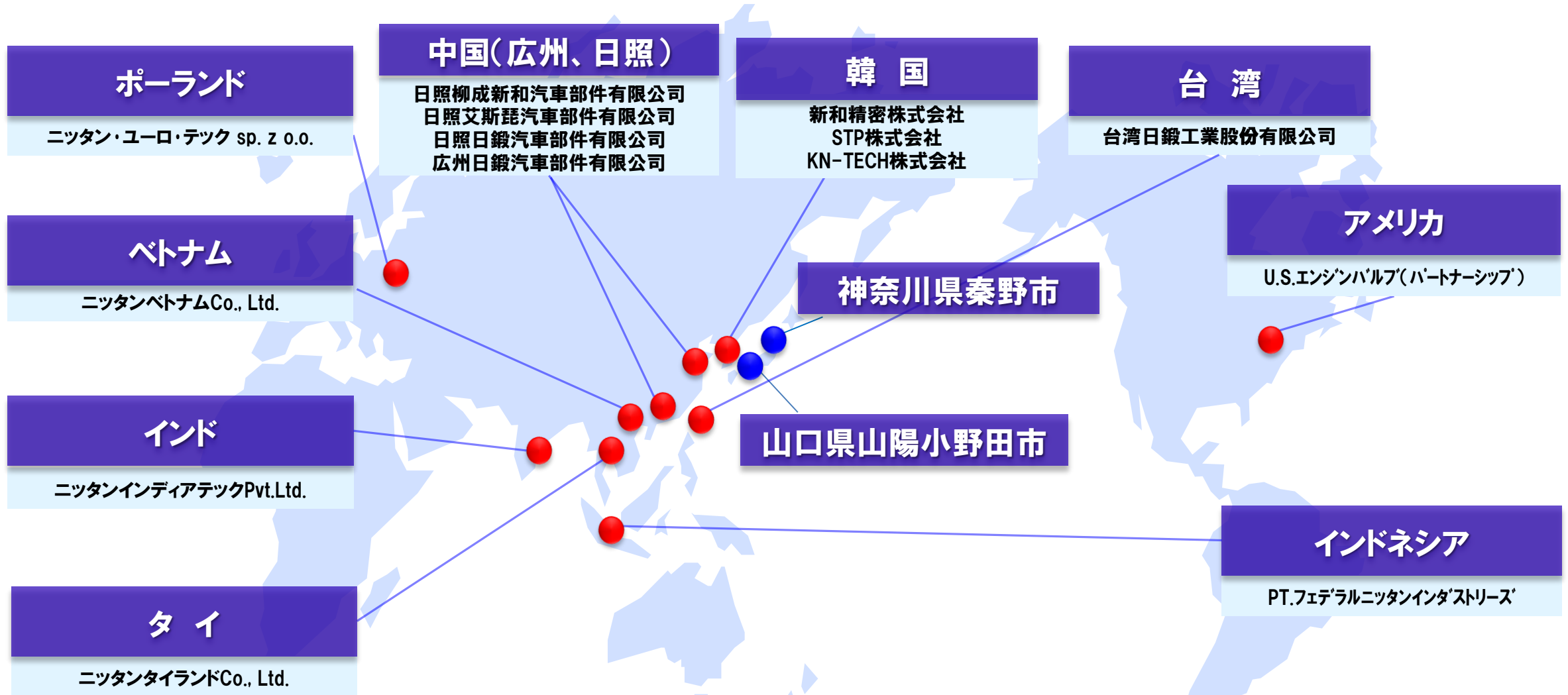
その他事業

その他事業売上高（連結）



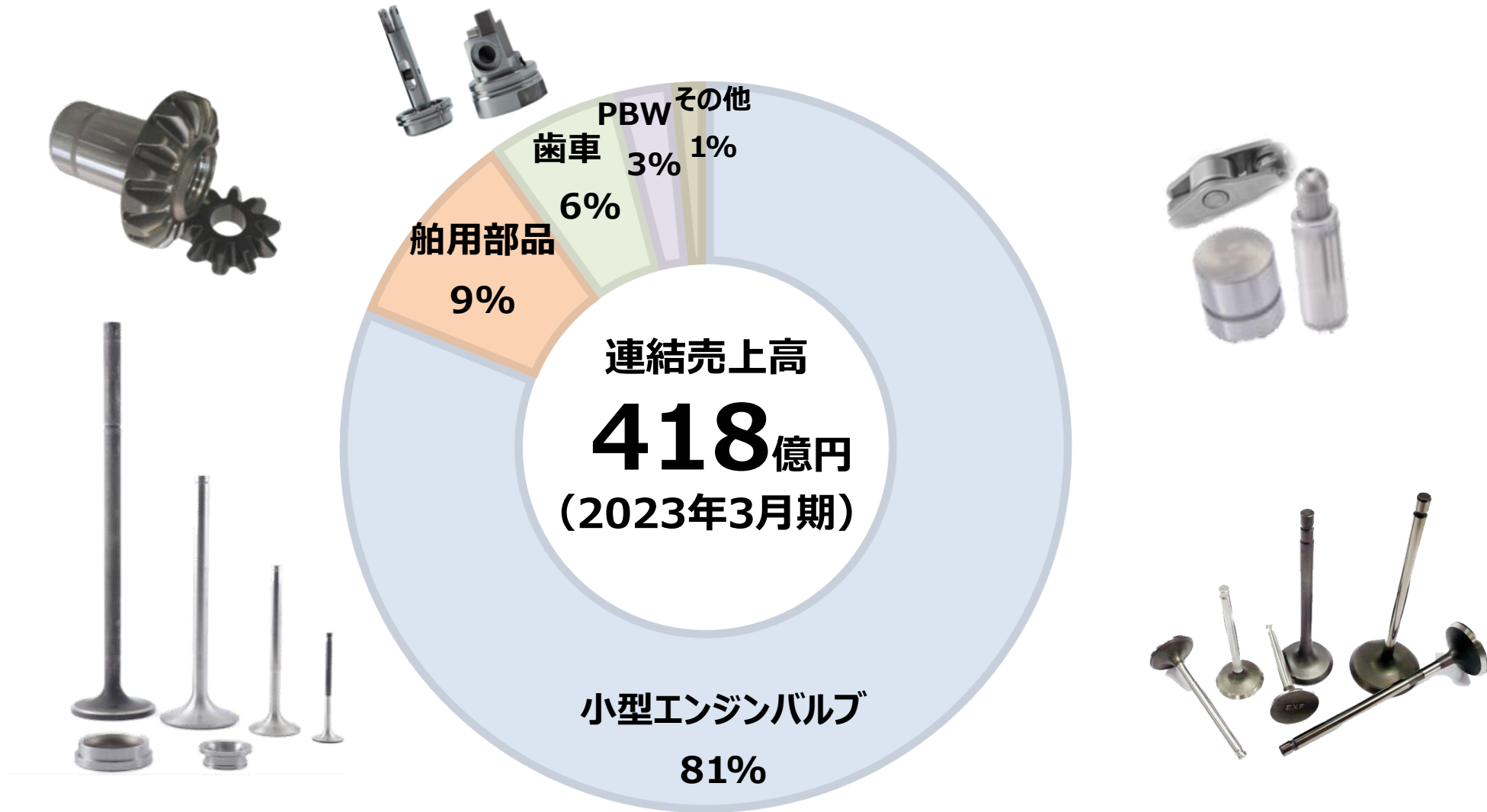
■ 5つの事業領域で構成されている

4. 生産拠点 (●国内, ●海外)



■ 国内2拠点、海外14拠点 (アセアン・アジア : 12、北米・欧州 : 2) を設けている

5. 売上高及びセグメント別比率



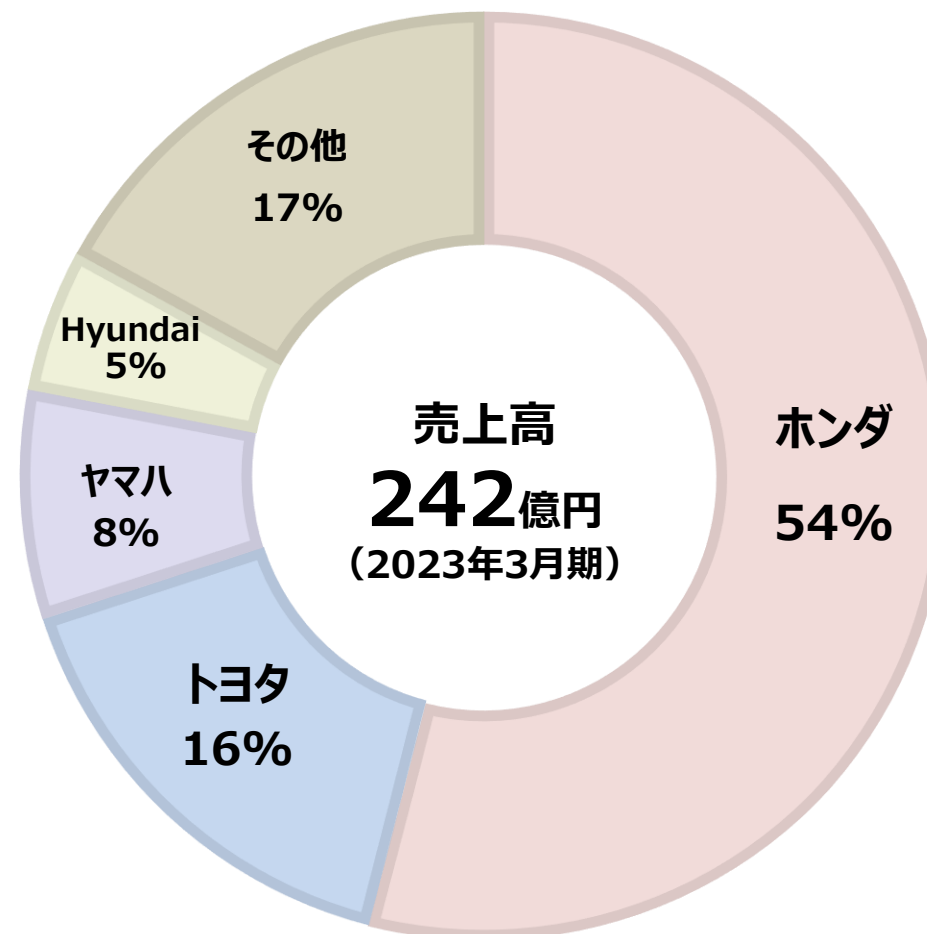
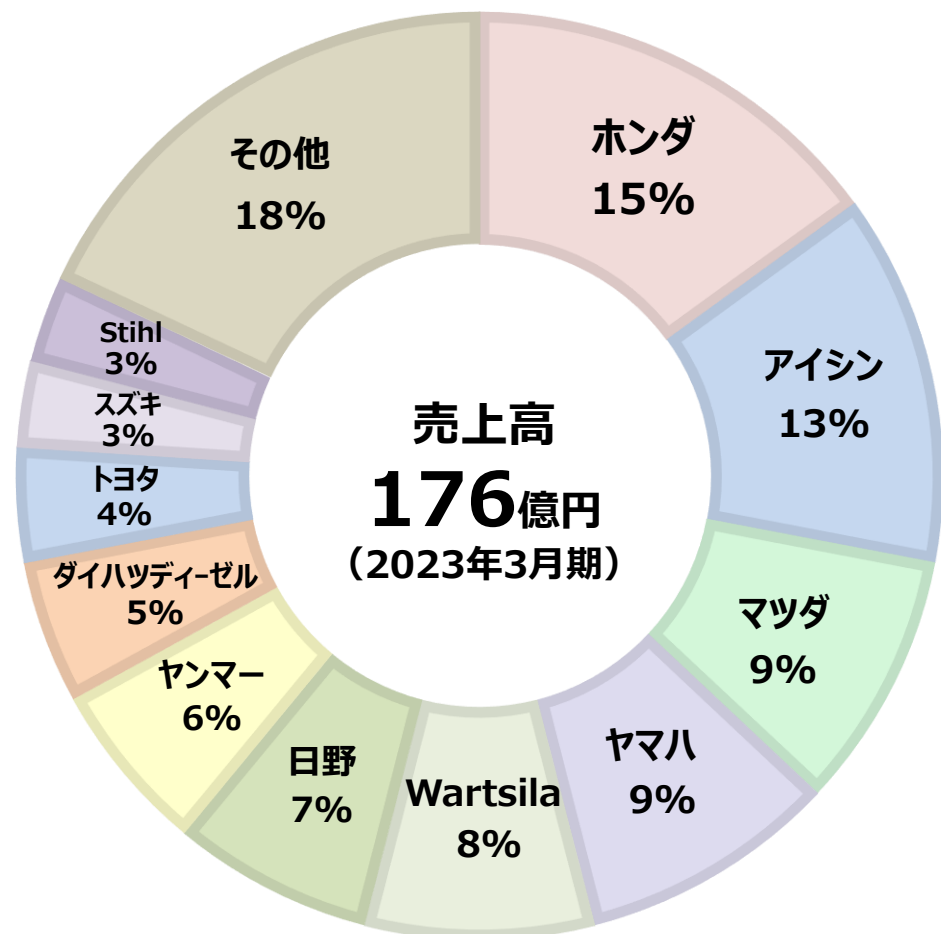
■ 小型エンジンバルブ領域の割合が依然と高いが、事業の多角化は着実に進んでいる

6. 国内・海外 主要お取引先様比率（連結売上高）

【敬称略】

【国内】

【海外】

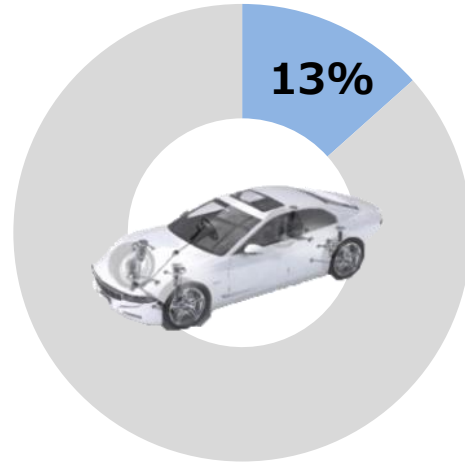


■ 系列に属さない強み

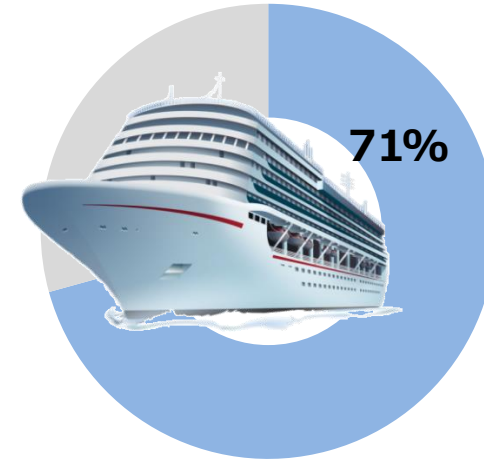
■ 二輪・四輪両方を手掛けるお客様の比率が高い

7. エンジンバルブ当社推定シェア(グローバル)

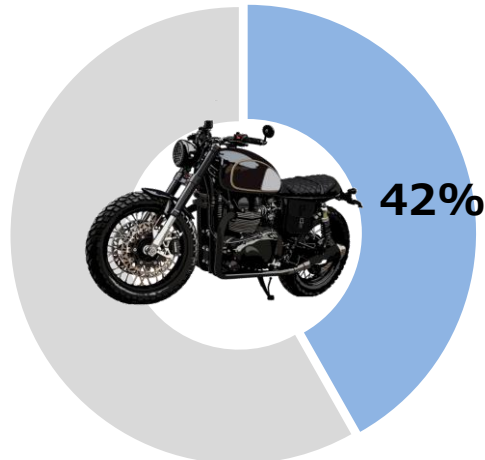
四輪向け



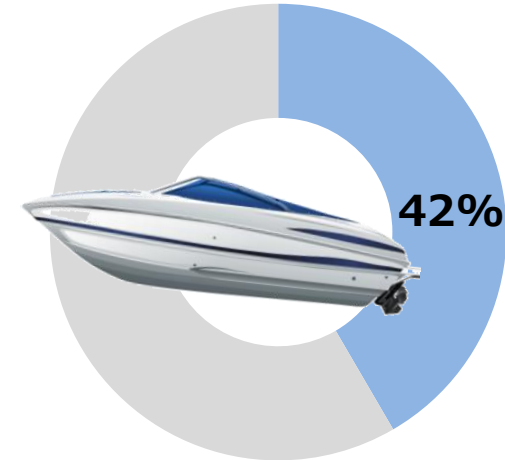
船用中速エンジン向け



二輪向け



船外機向け



■ カテゴリー別、特有技術の強みを発揮

第2部：2023年3月期決算及び次期見通し

1. 当期業績報告
2. 次期見通し

1-1. 2023年3月期業績総括



(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期	23年3月期 予想 5/12発表数値	23年3月期	前期比 (左：金額、右：率)		予想比 (左：金額、右：率)	
					金額	率	金額	率
売上高	34,705	38,669	42,790	41,876	3,270	+8%	△914	-2%
営業利益	18	1,963	2,560	1,440	△523	-27%	△1,120	-44%
営業利益率	0.1%	5.1%	6.0%	3.4%				
経常利益	375	2,106	2,560	1,759	△347	-16%	△801	-31%
当期純利益（*）	670	644	1,080	391	△253	-39%	689	-64%

海外関係会社 連結決算適用レート		21年3月期	22年3月期	23年3月期 予想	23年3月期
USドル	円/USD	103.52	115.02	115.02	132.70
人民元	円/RMB	15.89	18.07	18.07	19.02

23年3月期に 含まれる為替影響 (前期比)	
売上高	2,063
営業利益	135

(*) 「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

- 特に日本国内での半導体不足からの回復遅れと、インフレの影響を強く受けた1年
- 円安影響を除くと、増収幅は12億円に留まり回復度は予想を下回る
- 半導体不足等によるお客様の生産調整やインフレの影響で、日本及び北米で業績悪化

1-2. 事業セグメント別業績



(単位：百万円)

	21年3月期 実績			22年3月期 実績			23年3月期 予想			23年3月期 実績		
	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高 (前期比)	利益 (前期比)	利益率 (%)
小型エンジン バルブ	27,256	565	2.1	30,568	1,868	6.1	34,644	2,310	6.7	33,972 (+11%)	1,295 (-31%)	3.8
船用部品	2,740	△180	△6.6	3,184	89	2.8	3,688	63	1.7	3,762 (+18%)	91 (+2%)	2.4
歯車	2,344	△331	△14.1	2,781	△63	△2.3	2,791	△167	△6.0	2,446 (-12%)	△309 (-)	△12.6
PBW	1,159	△80	△6.9	1,262	68	5.4	1,108	84	7.6	1,059 (-16%)	113 (+66%)	10.7
その他	1,206	△45	△3.7	874	△10	△1.1	559	32	5.7	637 (-27%)	50 (-)	7.8

※上記の利益は事業別のセグメント利益

- 小型エンジンバルブ：海外での受注回復・円安影響で増収も、主に日本と北米のコスト増で減益
- 船用部品：船舶用補用部品中心に増収も、原材料や電力などのコスト増により利益は前期並み
- 歯車：自動車用製品の受注減に加え、原材料や電力などのコスト増もあり減収減益
- PBW：生産調整の影響による受注減で減収も、原価改善と価格是正により増益

1-3. 所在地別業績



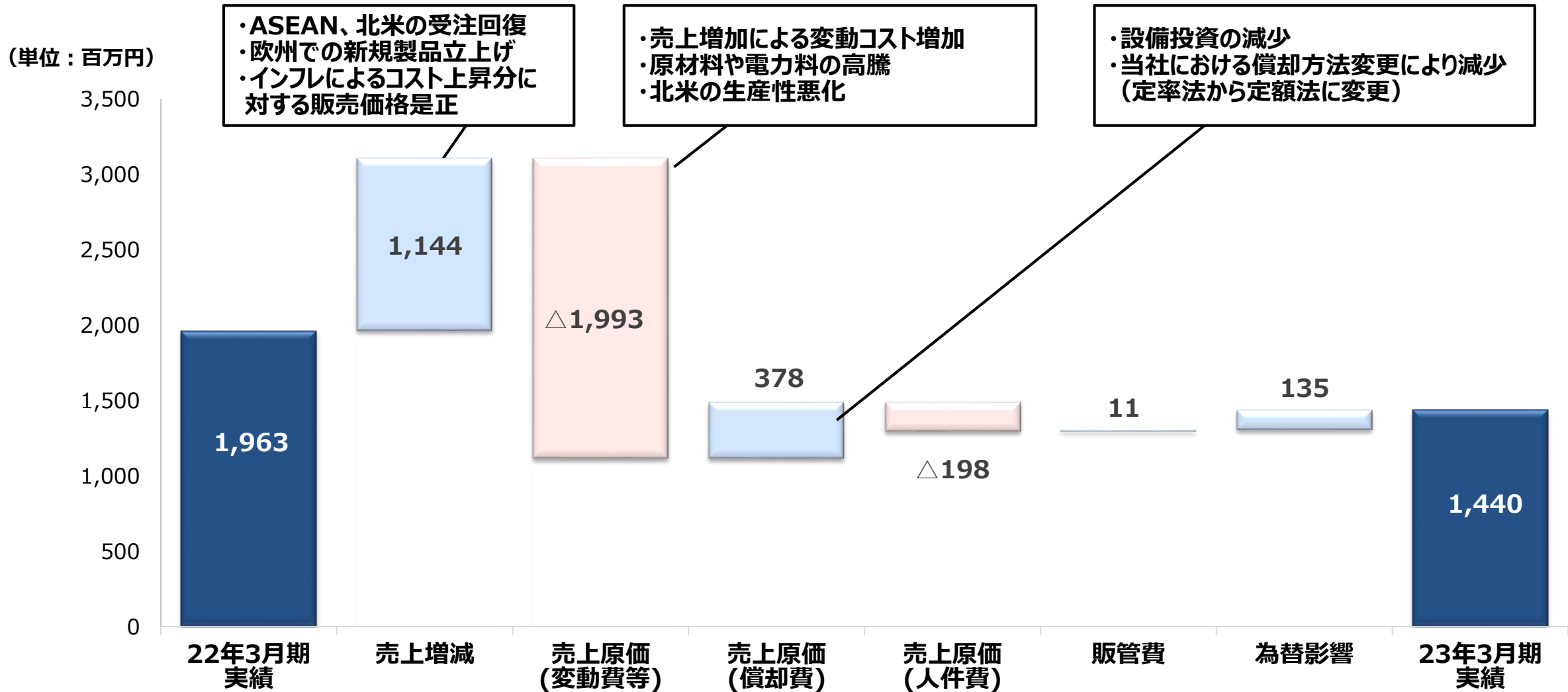
(単位：百万円)

	21年3月期 実績			22年3月期 実績			23年3月期 予想			23年3月期 実績		
	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高 (前期比)	利益 (前期比)	利益率 (%)
日本	17,232	△1,461	△8.5	18,196	△188	△1.0	17,801	△25	△0.1	17,675 (-3%)	△868 (-)	△4.9
アジア	12,146	1,269	10.4	14,563	2,563	17.6	16,299	3,084	18.9	15,857 (+9%)	2,677 (+4%)	16.9
北米	4,596	△61	△1.3	5,067	△377	△7.4	6,951	△767	△11.0	6,436 (+27%)	△551 (-)	△8.6
欧州	731	△2	△0.2	843	△60	△7.1	1,739	56	3.2	1,908 (+126%)	6 (-)	0.3

※上記の利益は所在地別のセグメント利益

- 日本：半導体不足等によるお客様の生産調整とインフレ影響により減収減益
- 北米：円安影響もあり増収も、インフレによるコスト上昇と人材不足に起因する生産性悪化で減益
- アジア及び欧州：堅調な売上が維持され、増収増益

1-4. 連結営業利益増減要因



- 日本は減収だが、ASEAN・北米・欧州では受注回復し増収
- インフレによるコスト増加や北米の生産性悪化により売上原価増加

1-5. 連結貸借対照表



(単位：百万円)

科目	22年3月期 期末	23年3月期 期末	増減	科目	22年3月期 期末	23年3月期 期末	増減
資 産 の 部				負 債 の 部			
流動資産	22,274	24,695	2,421	流動負債	11,914	12,540	626
現金及び預金	6,309	6,825	516	固定負債	11,415	11,389	△26
受取手形及び売掛金	7,448	8,068	620	負債合計	23,329	23,929	600
たな卸資産	7,503	8,730	1,227	純 資 産 の 部			
その他流動資産	1,014	1,072	58	株主資本	22,529	22,543	14
固定資産	32,477	32,212	△265	その他の 包括利益累計額	1,398	2,407	1,009
有形固定資産	24,647	24,041	△606	非支配株主持分	7,495	8,028	533
無形固定資産	603	617	14	純資産合計	31,422	32,978	1,556
投資その他の資産	7,227	7,554	327	負債及び純資産合計	54,751	56,907	2,156
資産合計	54,751	56,907	2,156				

資産の部 : 為替の円安影響に伴い全体的に増加

負債の部 : フリーCFを原資に返済を進め、借入金は減少し、仕入債務が増加

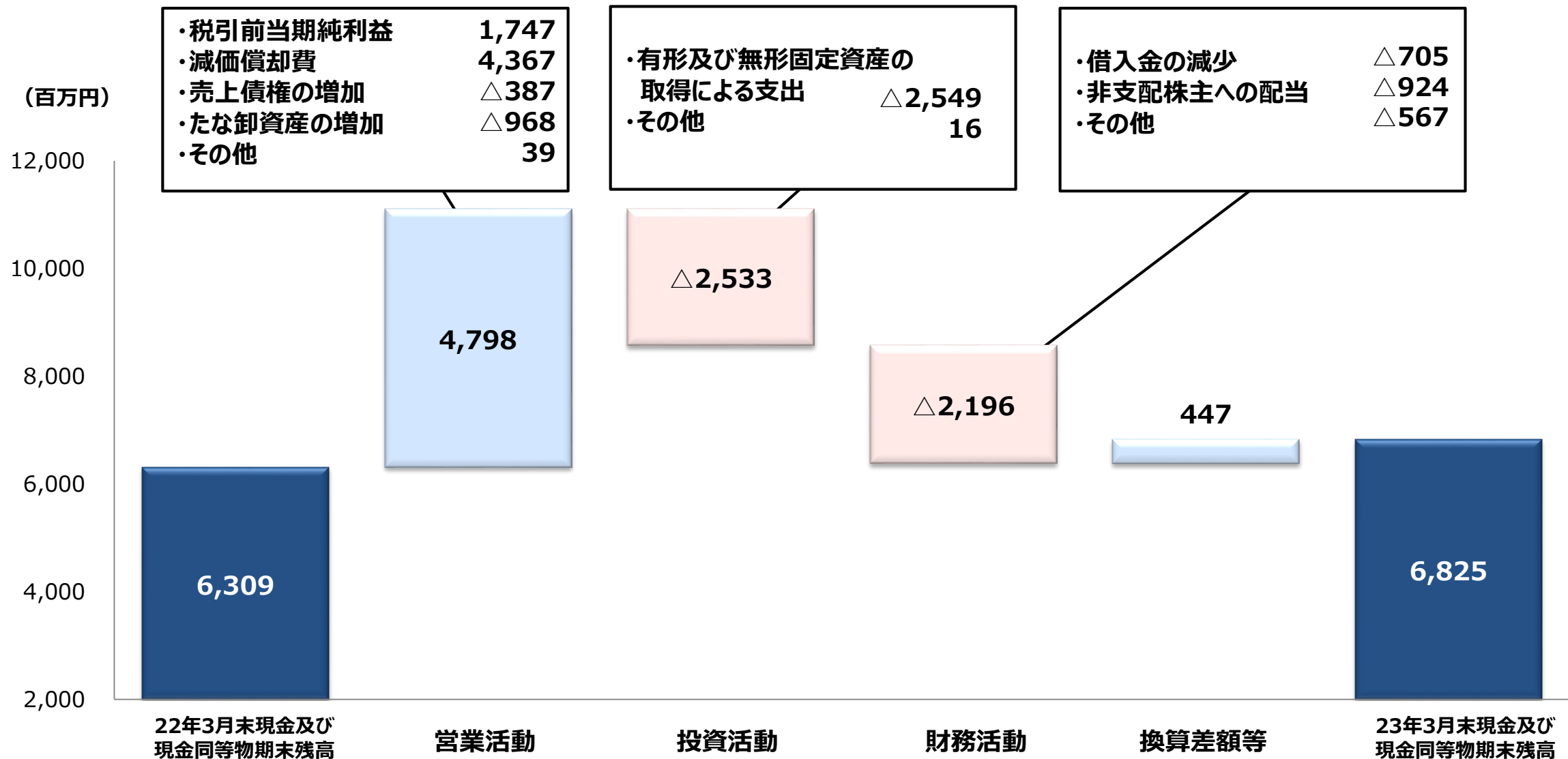
純資産の部 : 為替の円安影響による為替換算調整勘定の増加

自己資本比率

22年3月期期末 : 43.7%

23年3月期期末 : 43.8%

1-6. 連結キャッシュ・フロー



- 営業活動による収入はコスト増加により前期比で減少
- 設備投資の減少により期末キャッシュ残高は増加

2-1. 2024年3月期通期業績見通し総括



(単位：百万円)

	22年3月期 (実績)	23年3月期 (実績) A	24年3月期 (予想) B	増減額 (B-A)	
売上高	38,669	41,876	48,100	6,224	+15%
営業利益	1,963	1,440	2,200	760	+53%
営業利益率	5.1%	3.4%	4.6%		
経常利益	2,106	1,759	2,250	491	+28%
当期純利益 (*)	644	391	1,080	689	+176%

業績見通し適用レート	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(予想)
(参考) USドル 円/USD	115.02	132.70	132.70
人民元 円/RMB	18.07	19.02	19.02

(*) 「当期純利益」は、「親会社に帰属する当期純利益」を指す

- 世界自動車生産は回復傾向にあり、半導体不足等に起因する供給制約により積みあがった潜在的需要を取り込んで増収増益の見通し
- 増産に合わせて生産能力を対応させていく

2-2. 事業セグメント別業績見通し

(単位：百万円)

	22年3月期 実績			23年3月期 実績			24年3月期 予想		
	売上高	利益	利益率 (%)	売上高	利益	利益率 (%)	売上高 (当期比)	利益 (当期比)	利益率 (%)
小型エンジンバルブ	30,568	1,868	6.1	33,972	1,295	3.8	39,459 (+16%)	1,952 (+51%)	4.9
船用部品	3,184	89	2.8	3,762	91	2.4	4,390 (+17%)	201 (+121%)	4.6
歯車	2,781	△63	△2.3	2,446	△309	△12.6	2,718 (+11%)	△88 (-)	△3.2
PBW	1,262	68	5.4	1,059	113	10.7	1,036 (-2%)	7 (-94%)	0.7
その他	874	△10	△1.1	637	50	7.8	497 (-22%)	△30 (-)	△6.0

※上記の利益は事業別のセグメント利益

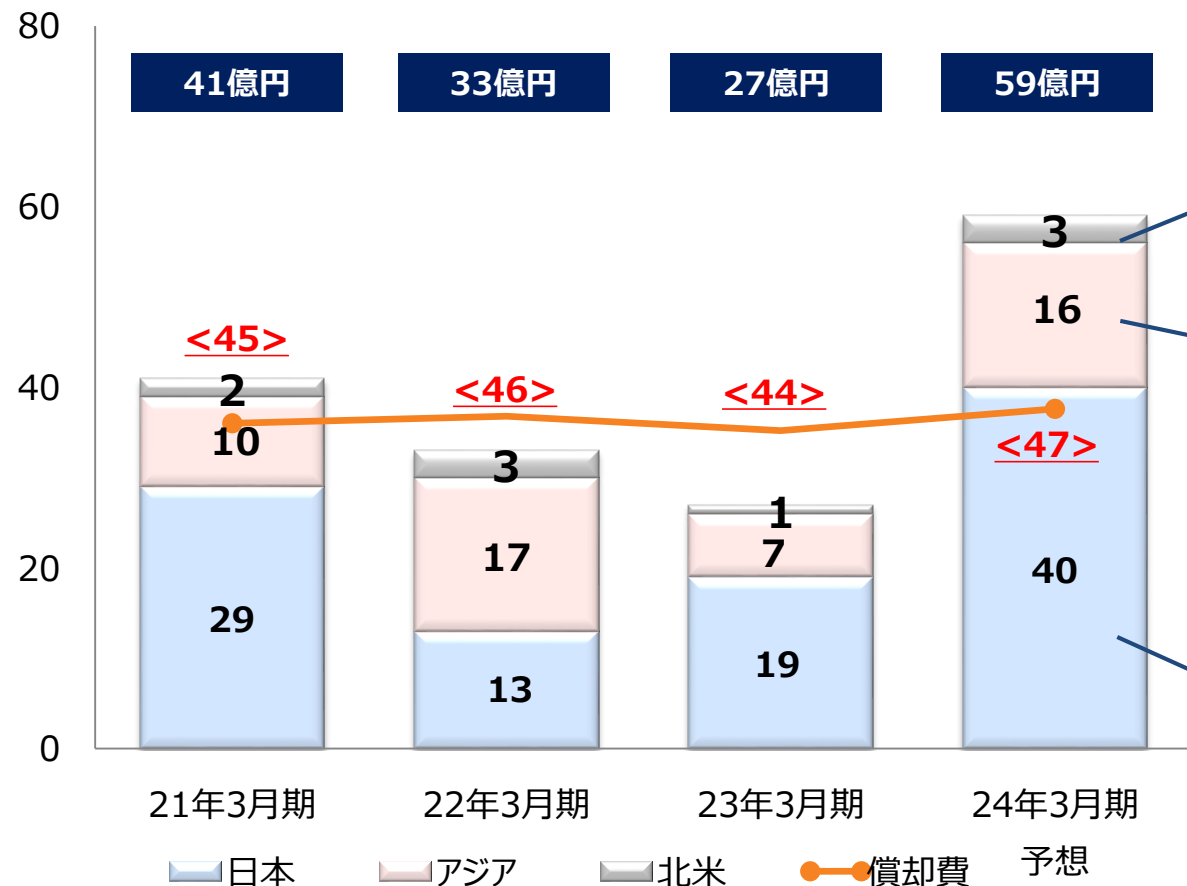
- 小型エンジンバルブ：世界自動車生産は回復傾向にあり、日本・北米中心に増収
- 船用部品：好調を継続し、増収増益見通し
- 歯車：受注は回復傾向にあり、自動化・省人化を進め利益を出せる体制作り
- PBW：受注は減少傾向、新製品の量産化に向けての対応を進める

2-3. 設備投資・減価償却費

設備投資
(億円)

<設備投資額・減価償却費>

償却費
(億円)



【北米】
・鏡面化バルブ用設備（第2ライン）

【アジア】
・中国（日照） 軸中空バルブ設備
・中国（広州）、ベトナム ソーラーパネル設置
その他、自動化投資や更新投資

【日本】
・自動化・省人化投資
・ソーラーパネル設置、工場リフォーム計画
・NC10関連投資は8億円の計画
・部品不足の影響により前期から繰り越した工事も多く、投資額は前年度の約2倍を計画

償却費対売上高比率	13.0%	11.8%	10.4%	9.8%
-----------	-------	-------	-------	------

(下線_数値: 減価償却費)

■ 前期からの繰越投資(約20億円)もあり、投資額は前年比で倍増の計画

2-4. 配当の状況

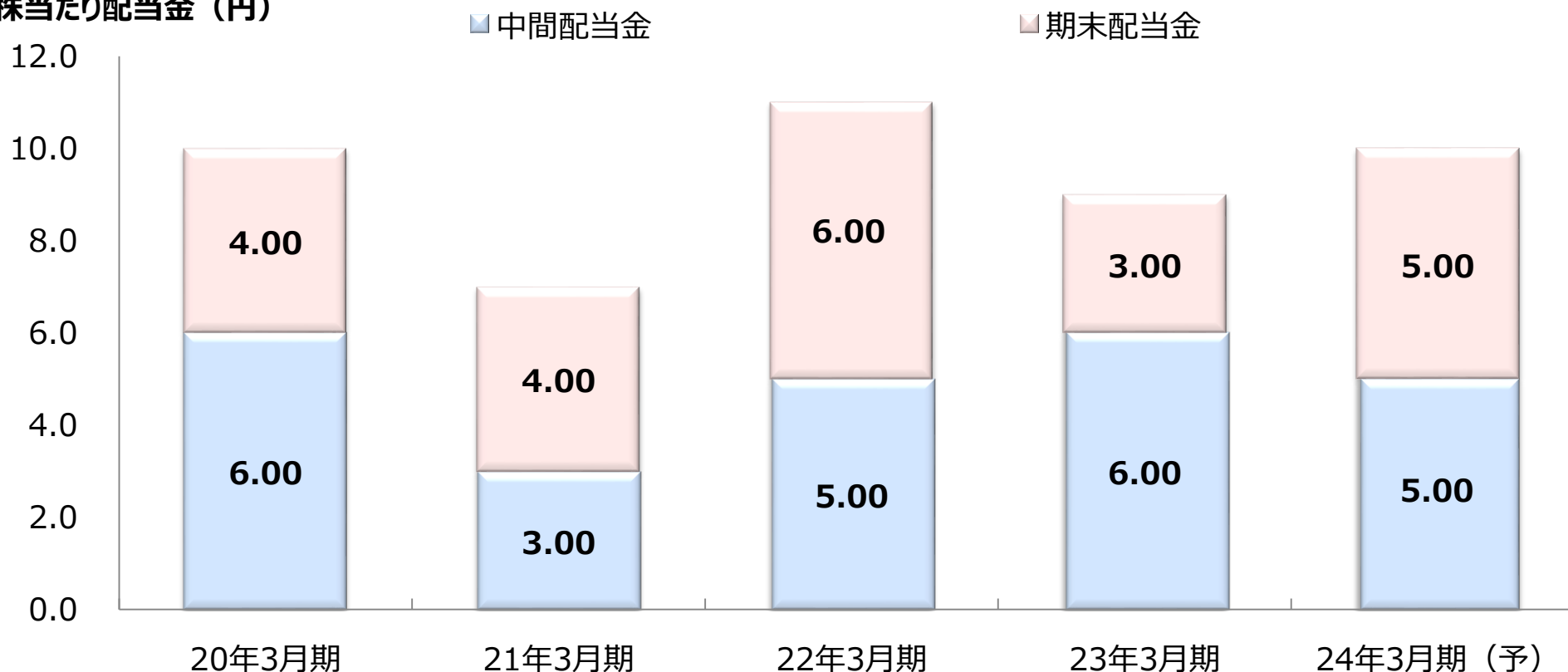
<期末配当>

基準日 : 2023年3月31日

配当金 : 1株あたり金3円 ※中間配当6円を合わせ年間9円を予定しております。

支払日 : 2023年6月26日

1株当たり配当金 (円)



連結EPS	14.94	23.33	22.39	13.60	37.64 (予)
-------	-------	-------	-------	-------	-----------

第3部：中長期戦略及び新たなトピックスについて

1. 中期経営計画
2. NITTAN Challenge 10(NC10)
達成に向けた取り組み
3. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み
4. DXを活用したスマートファクトリーへの挑戦
5. NITTANグループのCSR、SDGs活動状況について

1. 中期経営計画



(単位：百万円)

	'19年度	'20年度	'21年度	'22年度	'23年度 (目標)	'24年度 (目標)	'25年度 (目標)
売上高	42,465	34,705	38,669	41,876	48,100	52,300	52,600
営業利益	1,337	18	1,963	1,440	2,200	4,500	4,500
ROS	3.1%	0.1%	5.1%	3.4%	4.6%	8.6%	8.6%
当期純利益	431	670	644	391	1,080	2,420	2,580
ROE	1.9%	3.0%	2.8%	1.6%	3.3%	7.3%	7.8%

- 2025年まで、既存事業の持続的な需要増加が予想されている
- 需要回復と主力製品向け投資が落ち着いたことにより、収益性の向上が期待できる
- その営業キャッシュフローを将来の成長事業（NC10事業）に分配していく
- NC10事業が占める割合は9.3%であり、拡販を展開中

新しい「NITTAN」の中・長期経営VISION

売上高
1,000億円以上

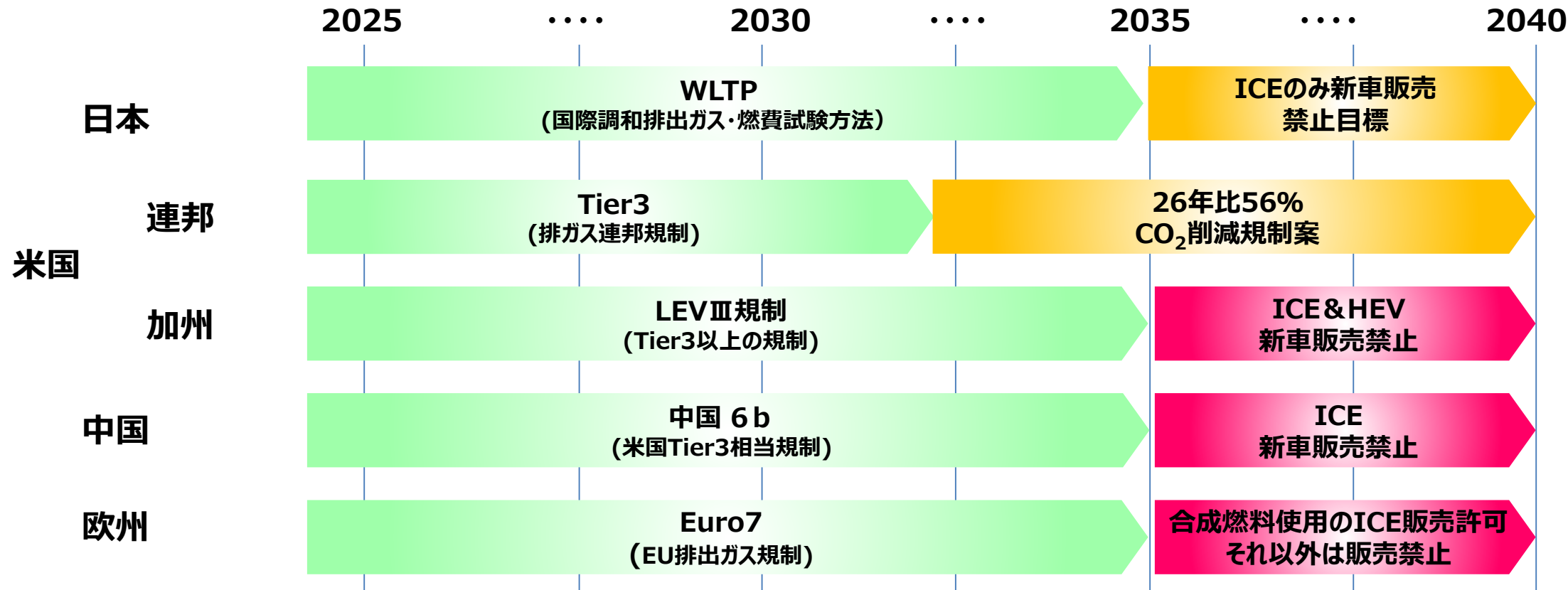
営業利益額
100億円以上

ROS
10%以上



2-2. 主要自動車市場の規制動向

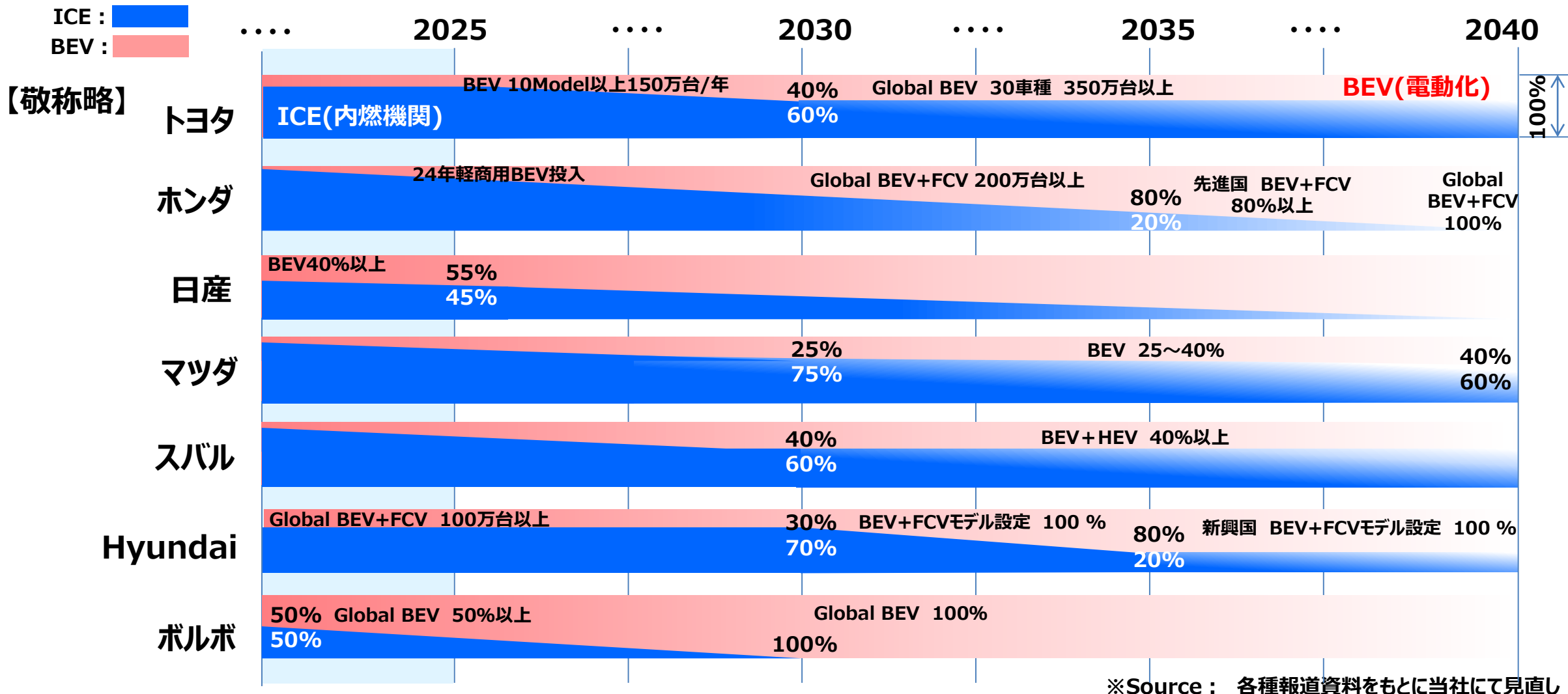
排ガス・燃費規制 → 販売規制 → 規制案、目標



※Source : AM_Word、JAE自動車技術他、報道資料をもとに当社にて見直し

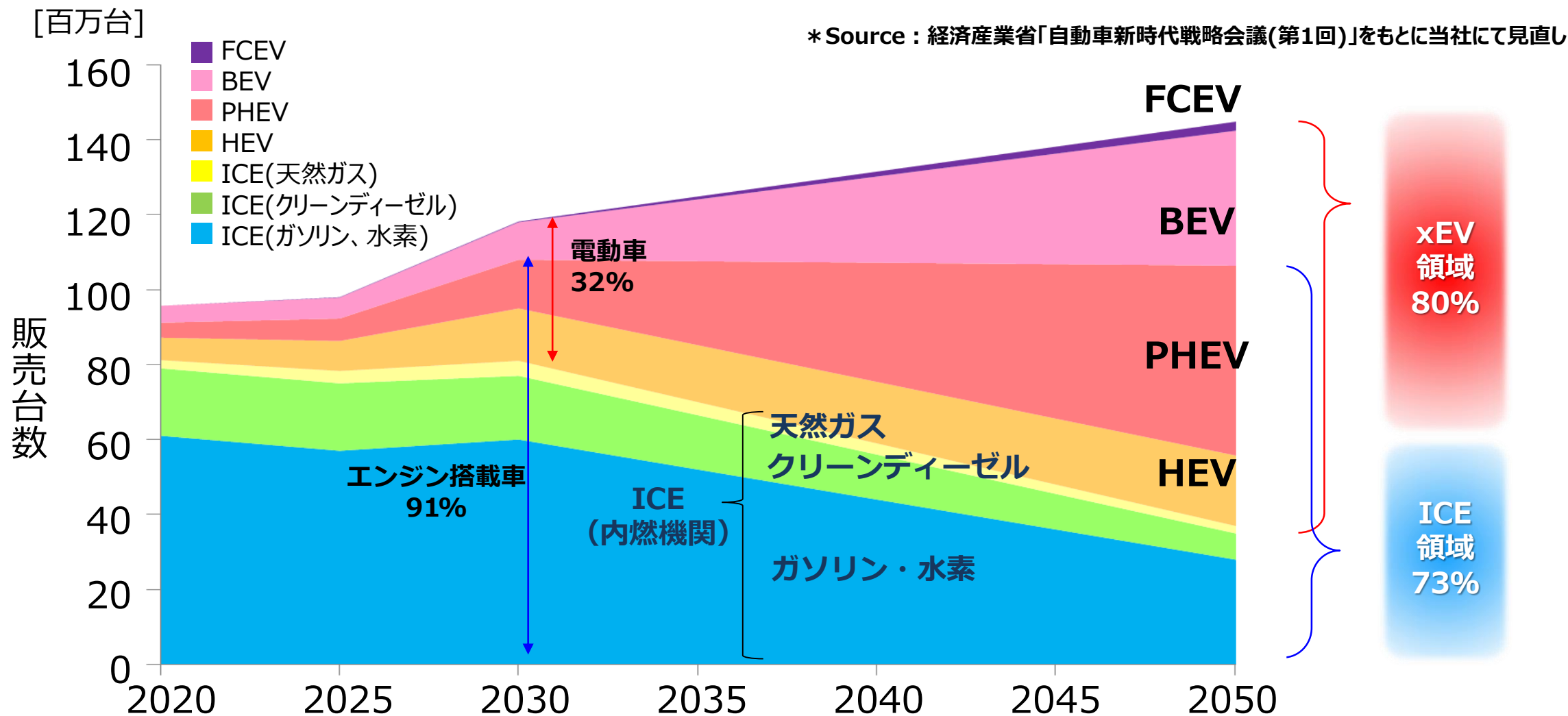
- 米国 加州及び中国では、2035年以降 ICEパワートレインを搭載した新車販売を禁止している
- しかし、EUでは、2035年以降も合成燃料(e-fuel)を使う ICE & HEVの新車販売を許可した

2-3. 自動車メーカー 電動化の動向



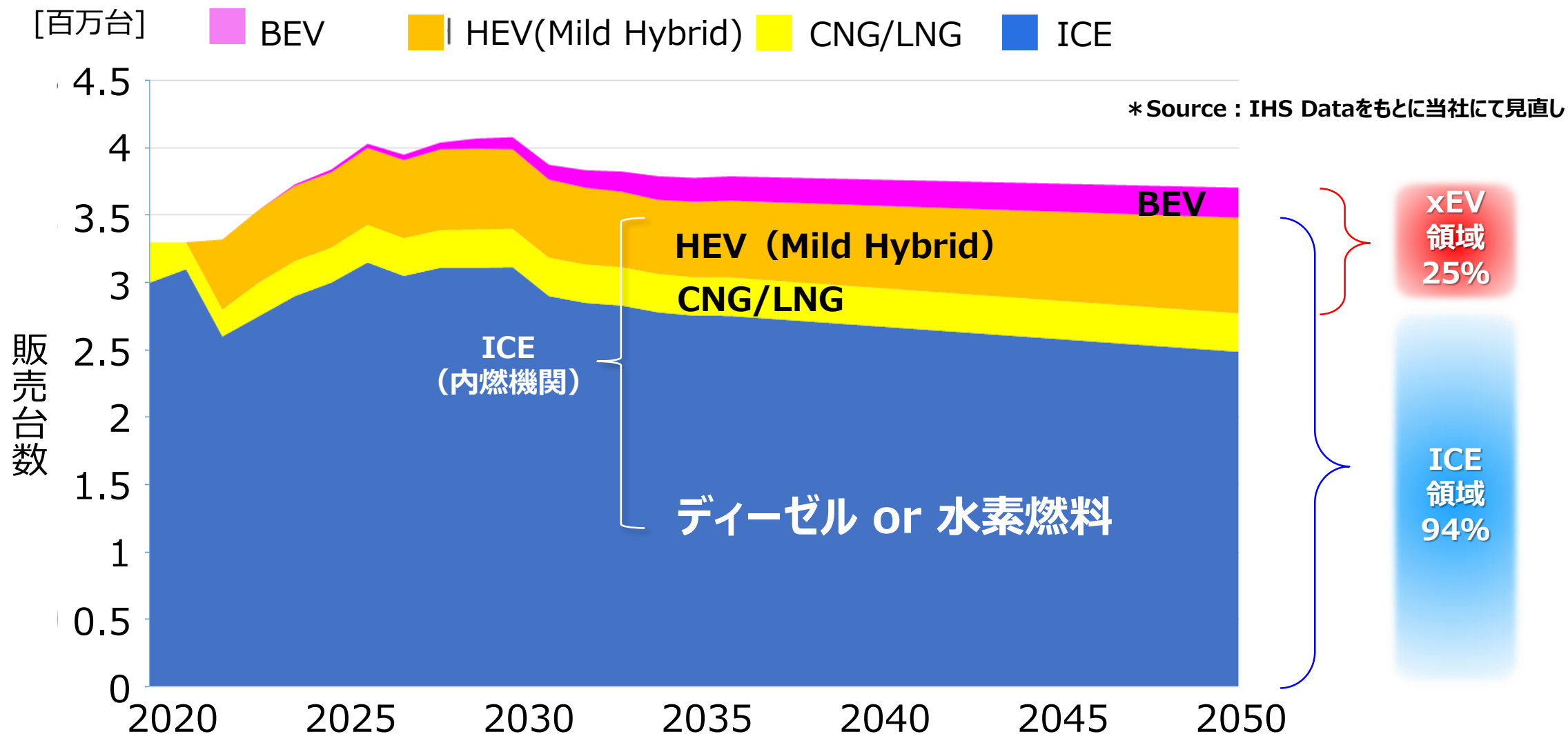
■ 各社まちまちの戦略、NC10開発を以って、自動車業界のカーボンニュートラル実現に貢献する

2-4. 乗用車 パワートレイン別販売予測 2020~2050



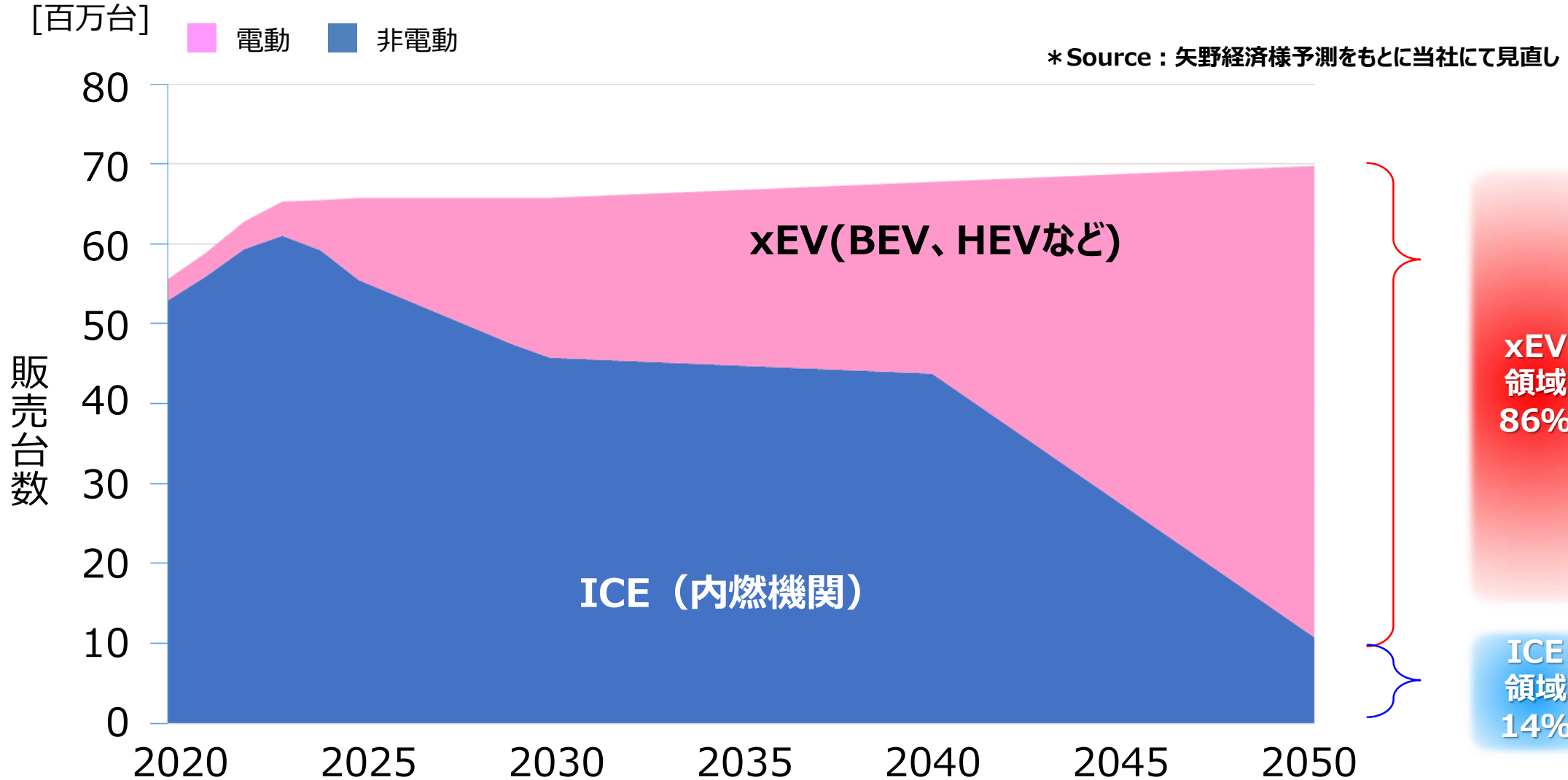
■ 電動車が主流になっていく中、HEVやPHEVの需要は続く見込み (ICE領域73%残存)

2-5. 商用車 パワートレイン別販売予測 2020~2050



■ 当面は内燃機関(ICE)が主流であり、電動化への切替わりについては、時間がかかる見込み

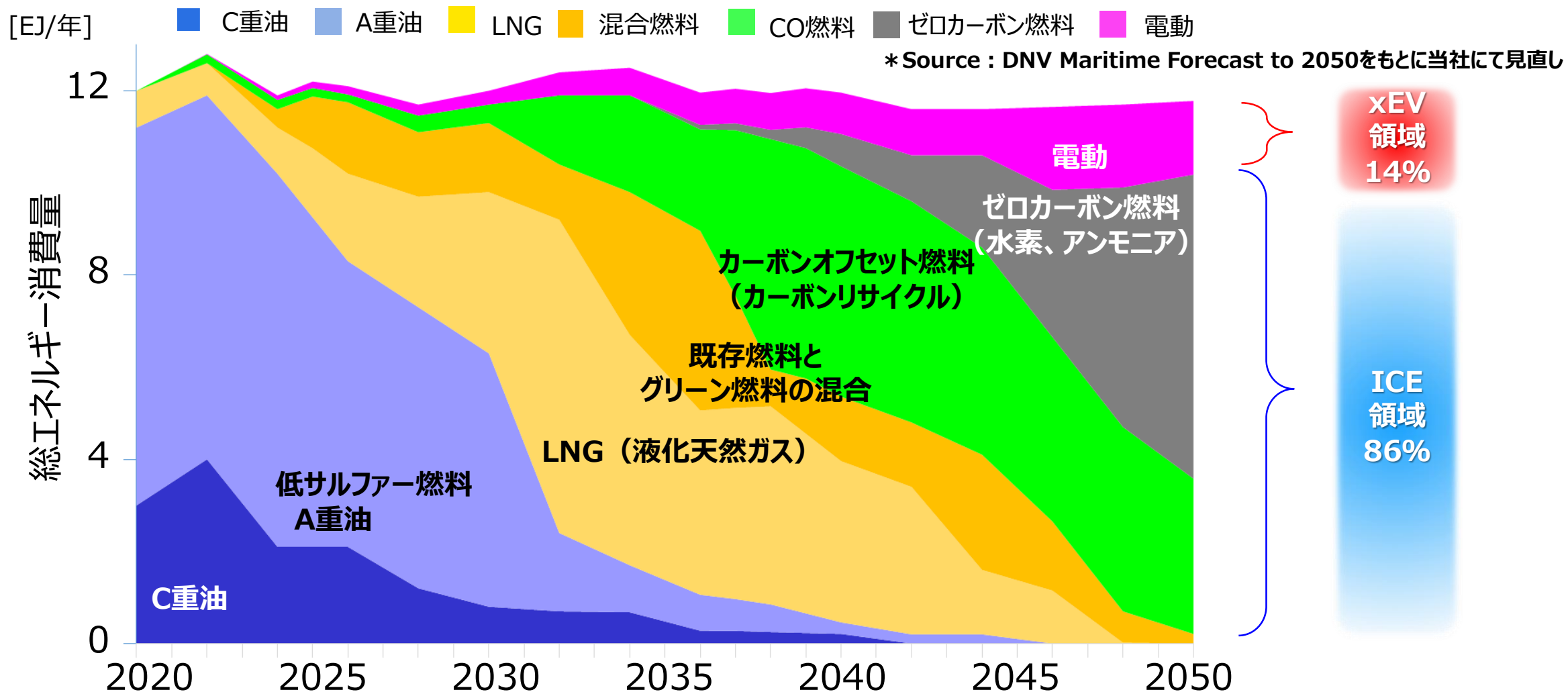
2-6. 自動2輪 パワートレイン別販売予測 2020~2050



■ スクーター系は電動化が加速すると思われるが、スポーツ系ではICEが一定量残ると予想される

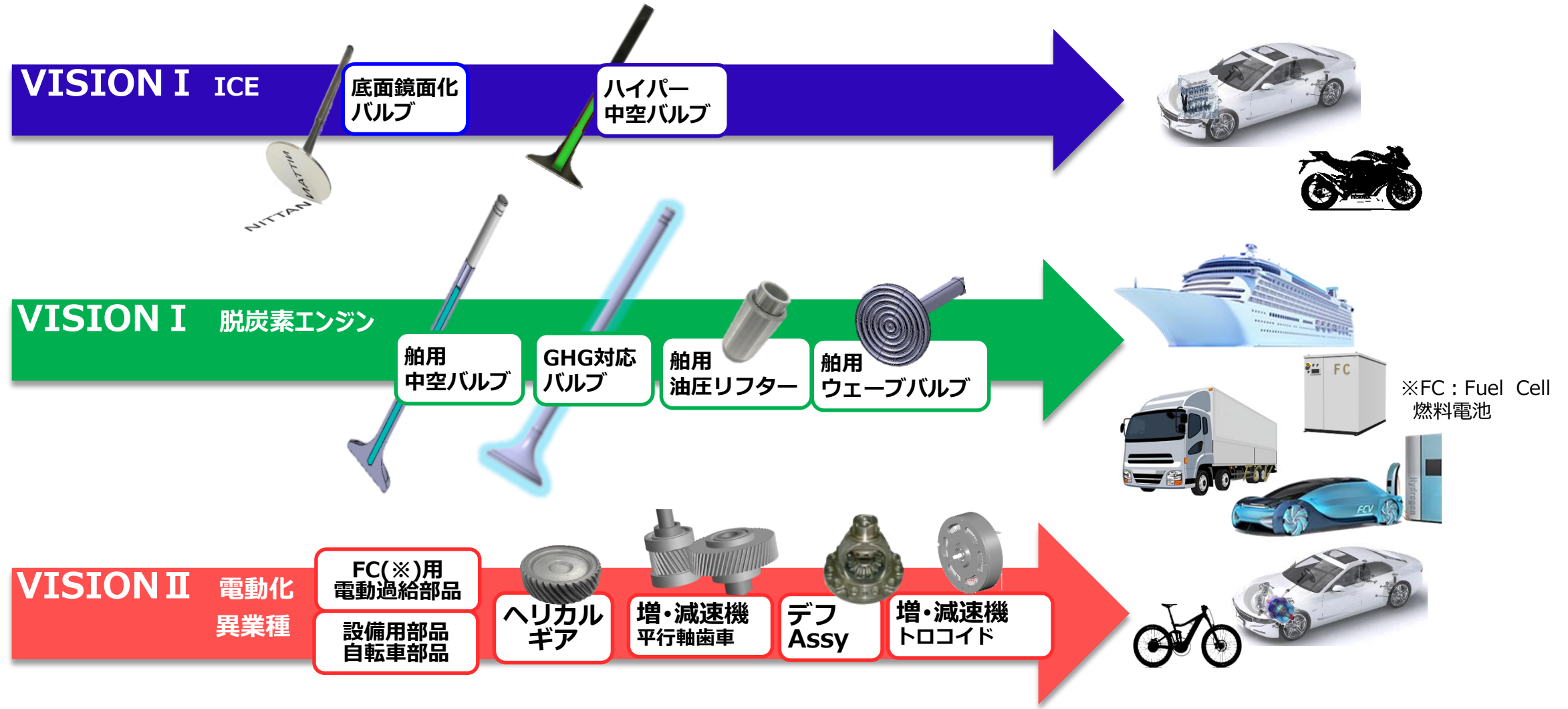
2-7. 船用 パワートレイン燃料予測 2020~2050

※EJ(エクサジュール) = 10¹⁸J



■ 船用業界は電動化の動きよりは、GHG(温室効果ガス)フリー対応技術がメインになる見込み

2-8. NC10開発のターゲットアイテム



■ 多様なモビリティに、NITTANの技術を駆使し、カーボンニュートラル実現に貢献する

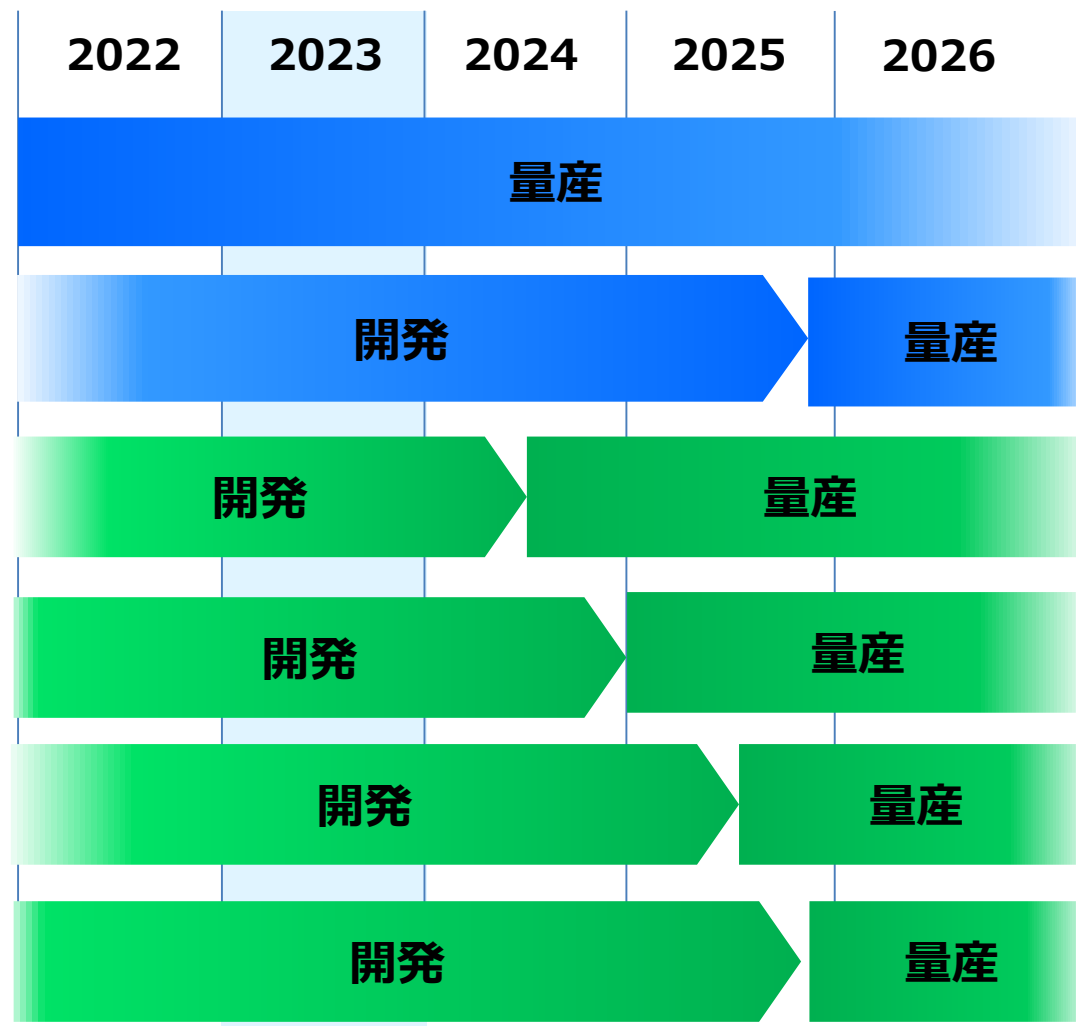
2-9. VISION I (ICE領域)の開発状況

NC10開発アイテム



顧客状況

底面鏡面化バルブ	量産開始
ハイパー中空バルブ	先行開発
船用中空バルブ	量産開発
GHG対応バルブ	量産開発
船用油圧リフター	量産開発
船用ウェーブバルブ	開発提案



■ 2022年から既に量産を開始しているアイテムもあり、2024年以降順次量産開始予定

2-10. VISION II (EV領域)の開発状況

NC10開発アイテム

顧客状況

2022 2023 2024 2025 2026

設備部品 他

量産開始

開発

量産

FC用電動過給部品

量産開発

開発

量産

EV用ヘリカルギア



開発提案

開発

量産

デフASSY

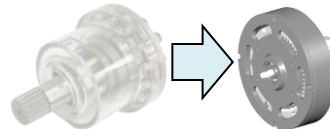


開発提案

開発

量産

減速機



開発提案

開発

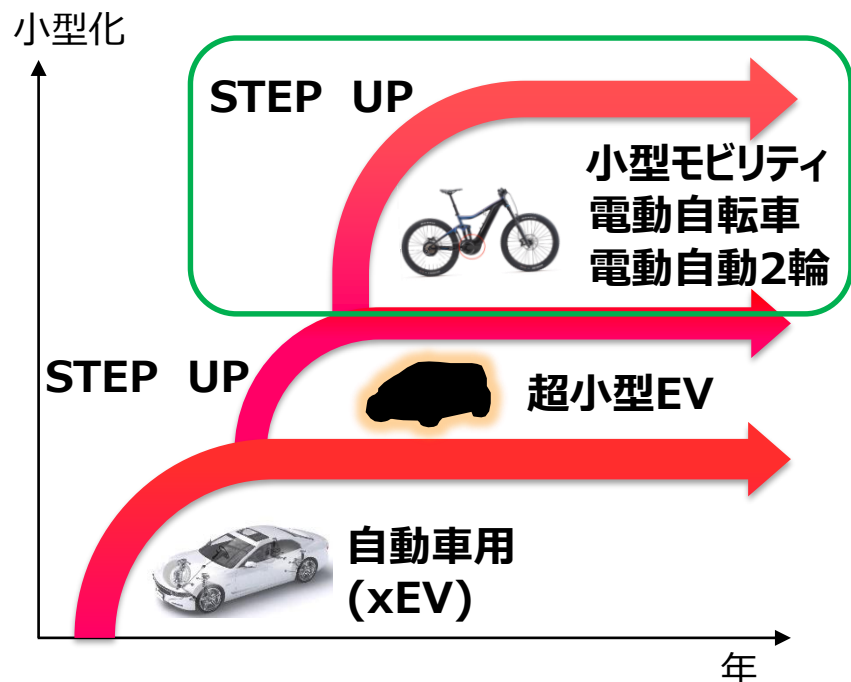
量産

- 設備部品等は既に量産を開始しており、更なる受注増を見込んでいる
- FC用電動過給部品は量産受注が確定し、設備投資が進行中

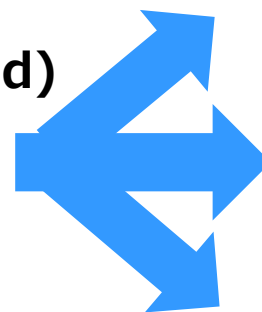
2-11. 減速機(Nixtroid)の開発方向転換について

小型モビリティターゲットを変える

超小型EV、電動カート、電動バイク
電動キックボード、電動自転車



小型減速機
(Mini-Nixtroid)



小型モビリティ



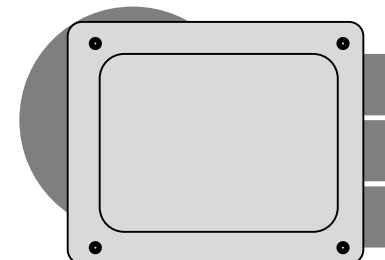
AGV



電動自動2輪



電動自転車



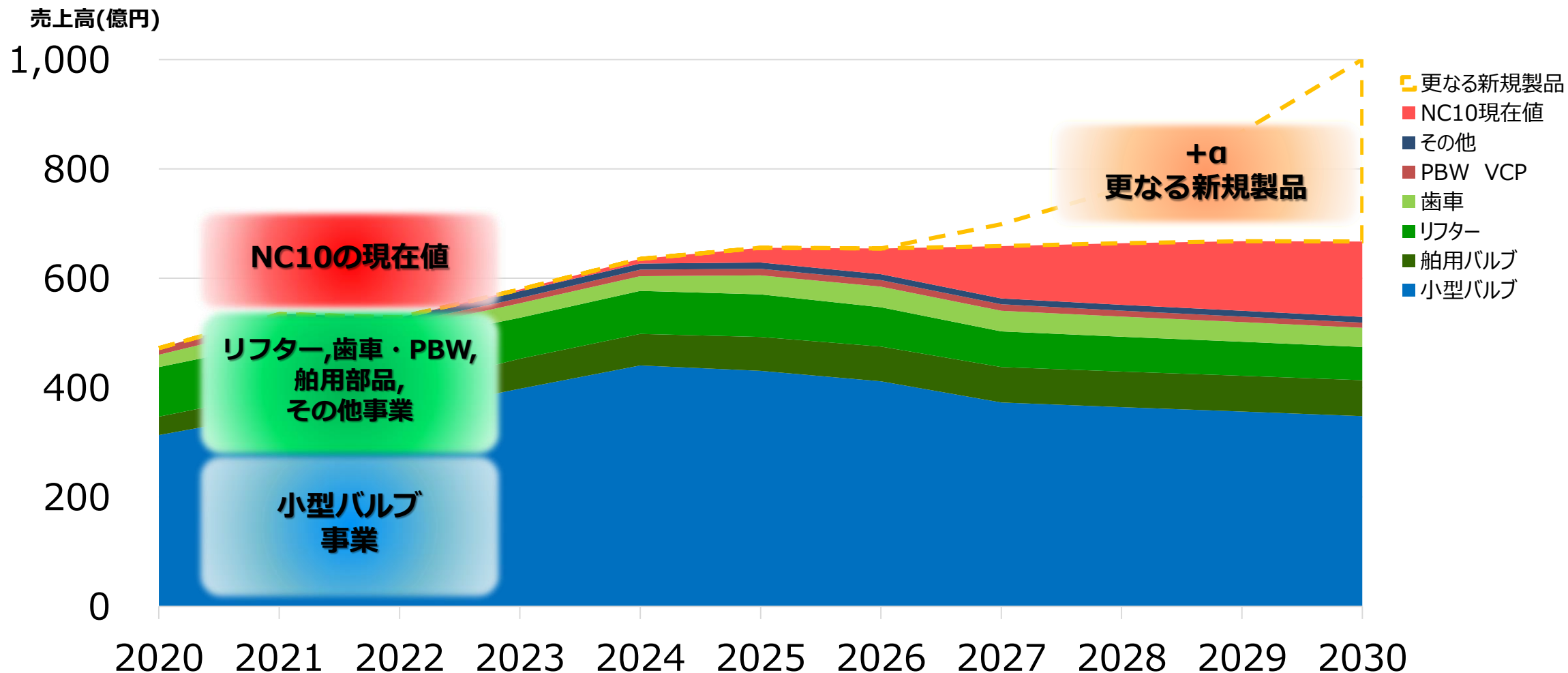
機電一体ユニット



ロボット

■ 競争が激化している電気自動車用から多様な小型モビリティに照準を変え、事業性を高める

2-12. NC10目標の現在値 (23年4月基準)



- 社内開発が完了したアイテムから、新規顧客への拡販を進めている
- 各種減速機、デフASSYなどの新規拡販アイテム開発が進行中である

3-1. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

■ NITTAN方針

NITTANカーボンニュートラル(NCN)は、世界基準と推進に協調し、NC10と共に実現する

■ 主な取り組み (太陽光発電の積極的な活用)

- ・中国(広州) : 工場屋根へ330 k w相当の発電パネルを本年6月末までに申請を完了させ、7月以降に、設置工事を開始予定
- ・ベトナム : 工場屋根へ378 k w相当の設置工事を開始、7月発電開始予定
- ・本社工場 : 事務厚生棟屋上へ110 k w相当、技術センター屋根へ100 k w相当の発電パネルを2023年度の設置へ向け計画
- ・タイ : 工場屋根へ約512 k w相当の設置が完了し、現在発電開始済み
第2弾の設置案を計画中
- ・山陽工場、インドネシア、韓国にて設置に向けた計画を立案中



NITTAN 本社工場正門
太陽光パネル



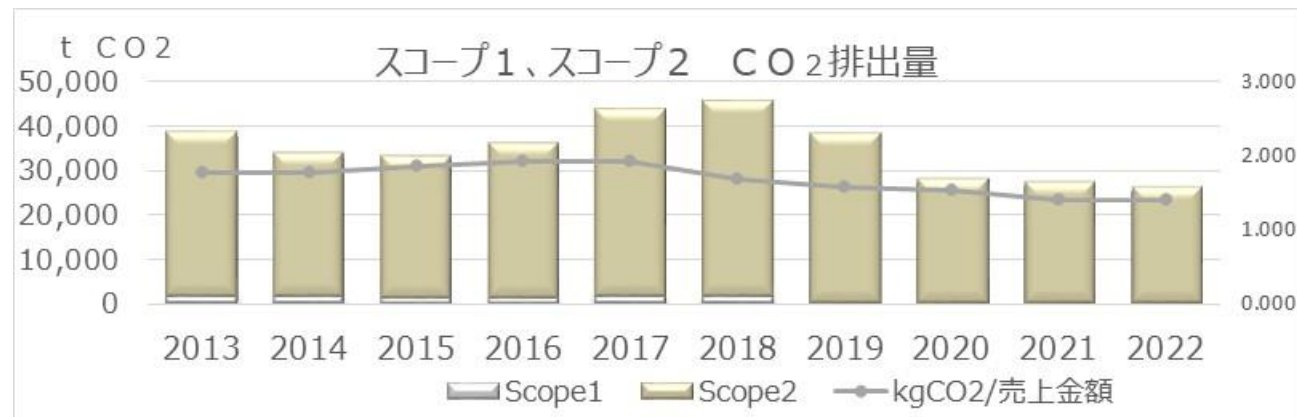
タイ子会社の太陽光発電



ベトナム子会社の太陽光発電予定

3-2. カーボンニュートラル達成に向けた取り組み

■ CO2排出量の状況 (スコープ1・スコープ2)



▶ スコープ1+2 排出量は、2013年度に対し、約12,000トン、32.2%の削減ができています。売上におけるCO₂排出量も減少傾向である。



▶ 前年よりスコープ1は、127トン削減、スコープ2は、省エネ・生産性の向上により約1,000トンが削減できている。

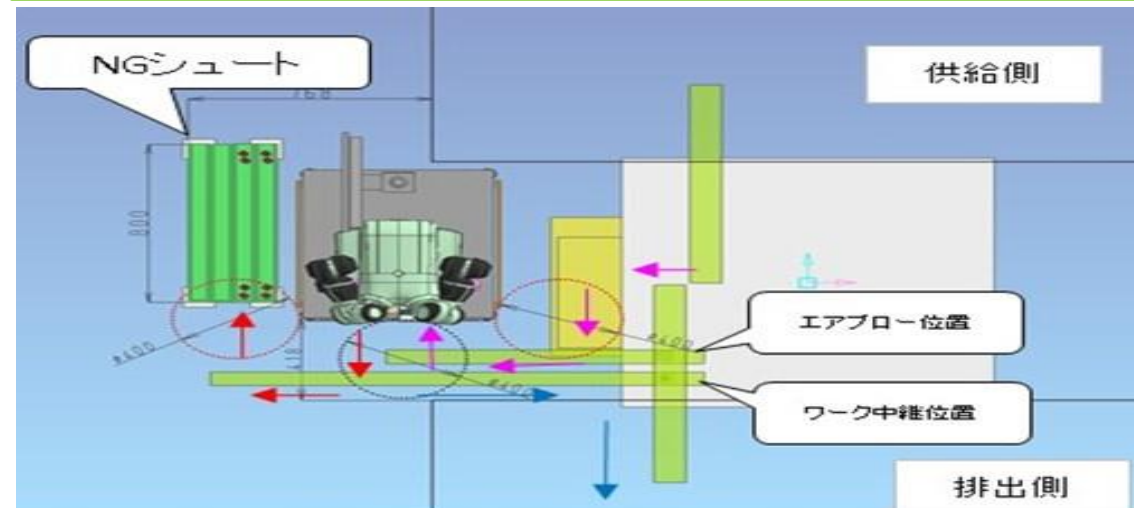
4-1. DXを活用したスマートファクトリーへの挑戦

秦野バルブ工場 廉価版AGVを活用した搬送



加工ライン⇒表面検査工程へAGVを活用

PBW工場 画像検査ロボットの活用



PBWピストンのバリ取り後品質確認に双腕画像検査機「外観けんた君（株式会社デクシス社製）」を活用

■ 働きやすく、その上、生産性も上げることで、従業員が幸せになれる会社を目指す

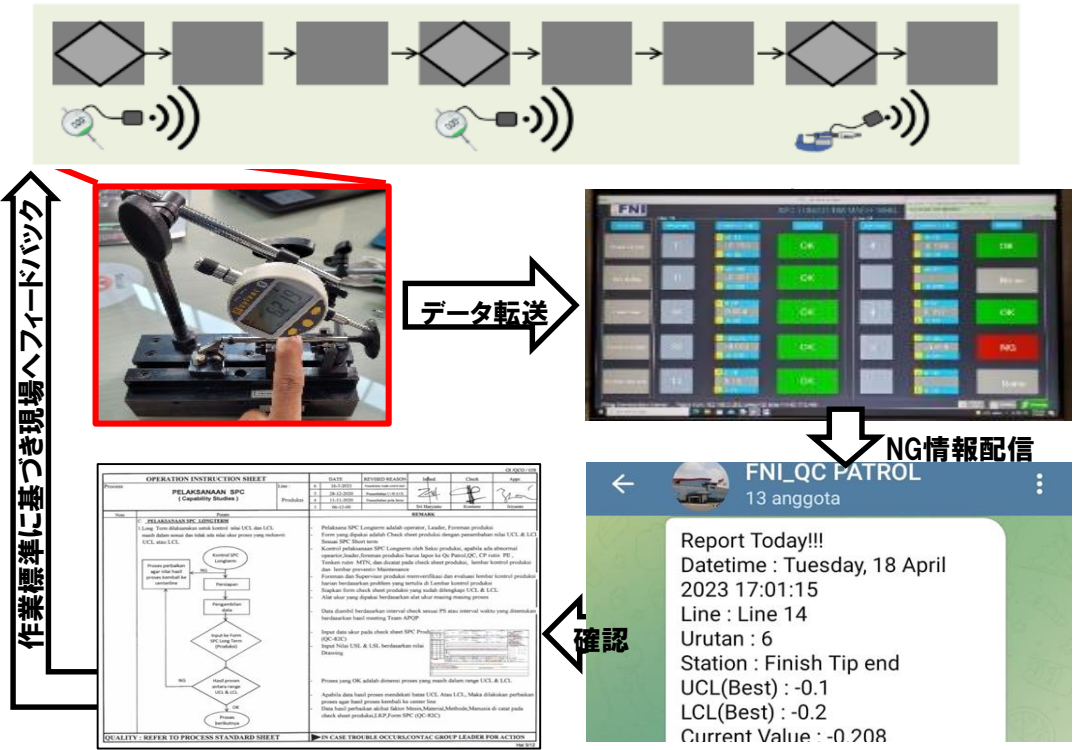
4-2. DXを活用したスマートファクトリーへの挑戦

新和精密 MES導入による生産効率向上



生産データを一元管理し、現場事務所及び携帯電話で生産状況をタイムリーに確認出来る事で、ロスの抑制に繋げている

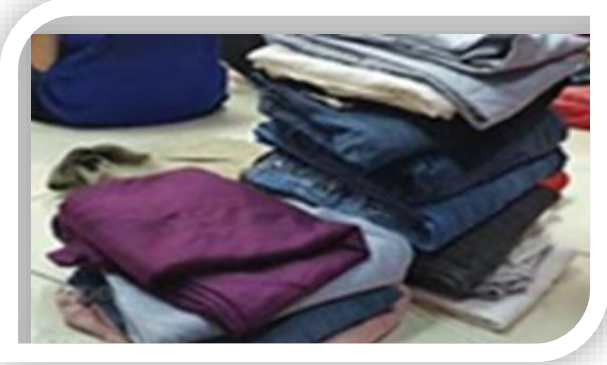
FNI 工程内検査のデジタル化取り組み



検査結果をデジタル化して、自動判定・記録システムを構築。NG情報は携帯アプリを介し関連部署とタイムリーな情報共有で流出防止を図る

■ タイムリーな情報共有とペーパーレス化、不良流出を防ぎ、筋肉質の会社を目指す

5. NITTANグループのCSR、SDGs活動状況について



ベトナムの子会社では、集めた古着を恵まれない人々へ寄付



インドネシアの子会社では、2022年11月23日に発生したチアンジュール地震における被災者への募金活動を実施



ベトナムの子会社では、2022年9月にバクニン市の幼稚園に 14個のロッカーを寄贈



インドネシアの子会社では、シラマヤウエタン地区においてマングローブの植林を実施

中国・広州市の子会社では、排水を低温蒸発装置でろ過後再利用

■ SDGs17の目標中、貧困をなくそう、質の高い教育を皆に、陸の豊かさを守ろう、安全な水とトイレを世界中に、の4つのテーマを実践

注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在入手可能な情報及び仮定に基づき記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ

株式会社NITTAN 総務部

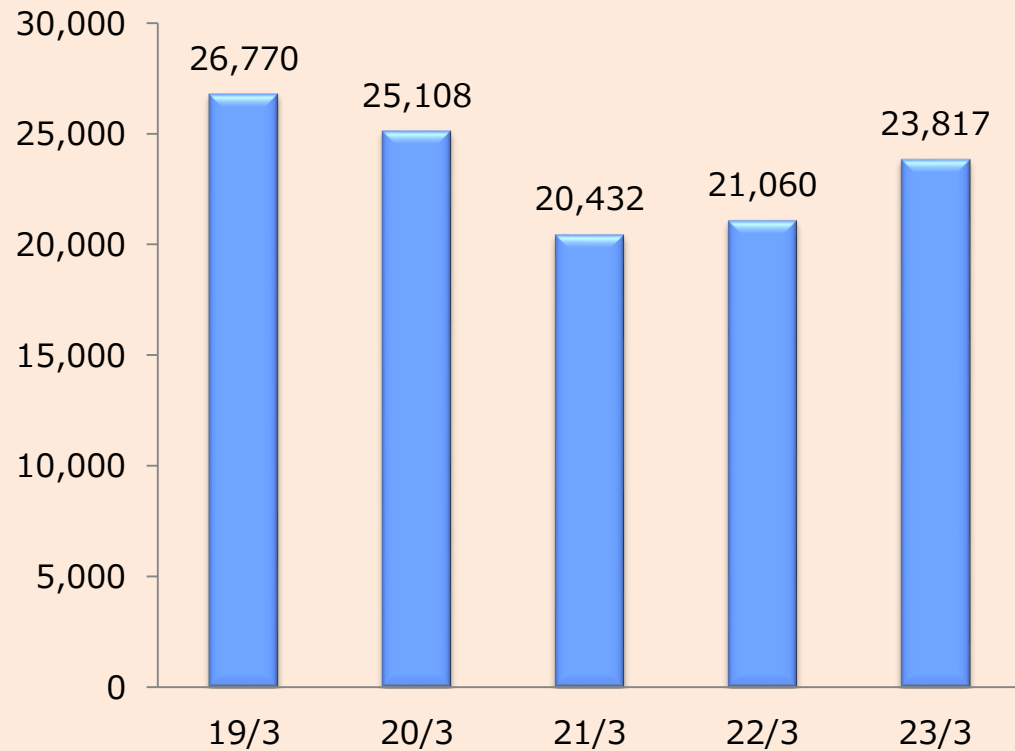
電話：0463-82-1311 F A X：0463-82-7413

U R L：https://www.niv.co.jp



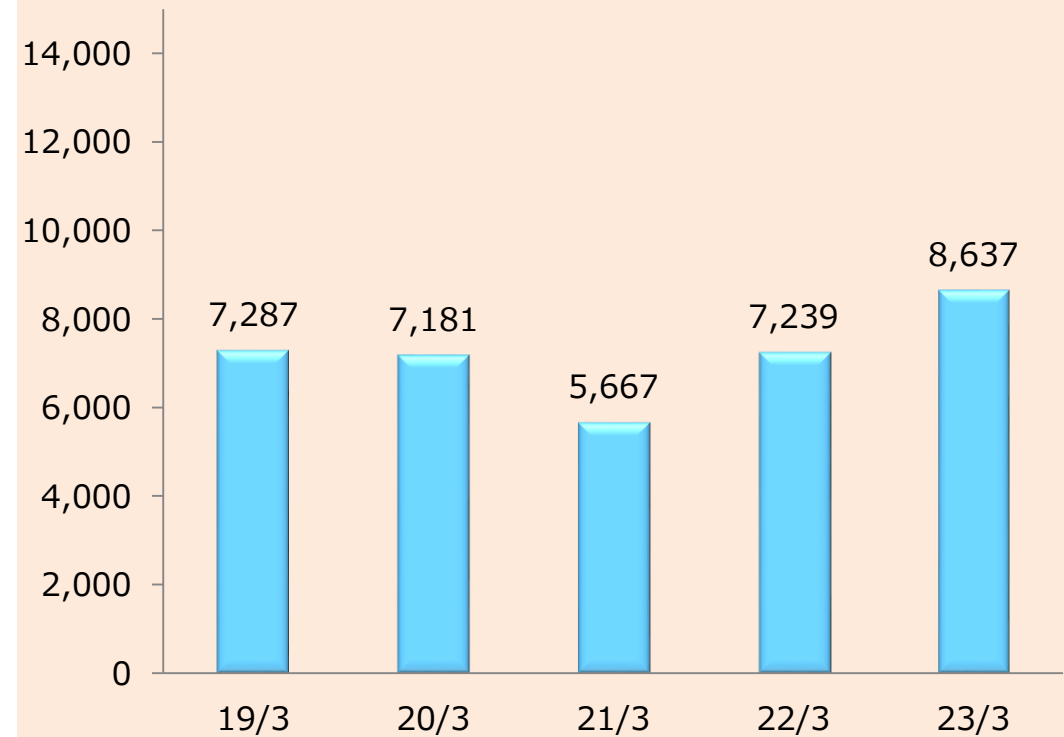
4輪車用エンジンバルブ

(単位：百万円)



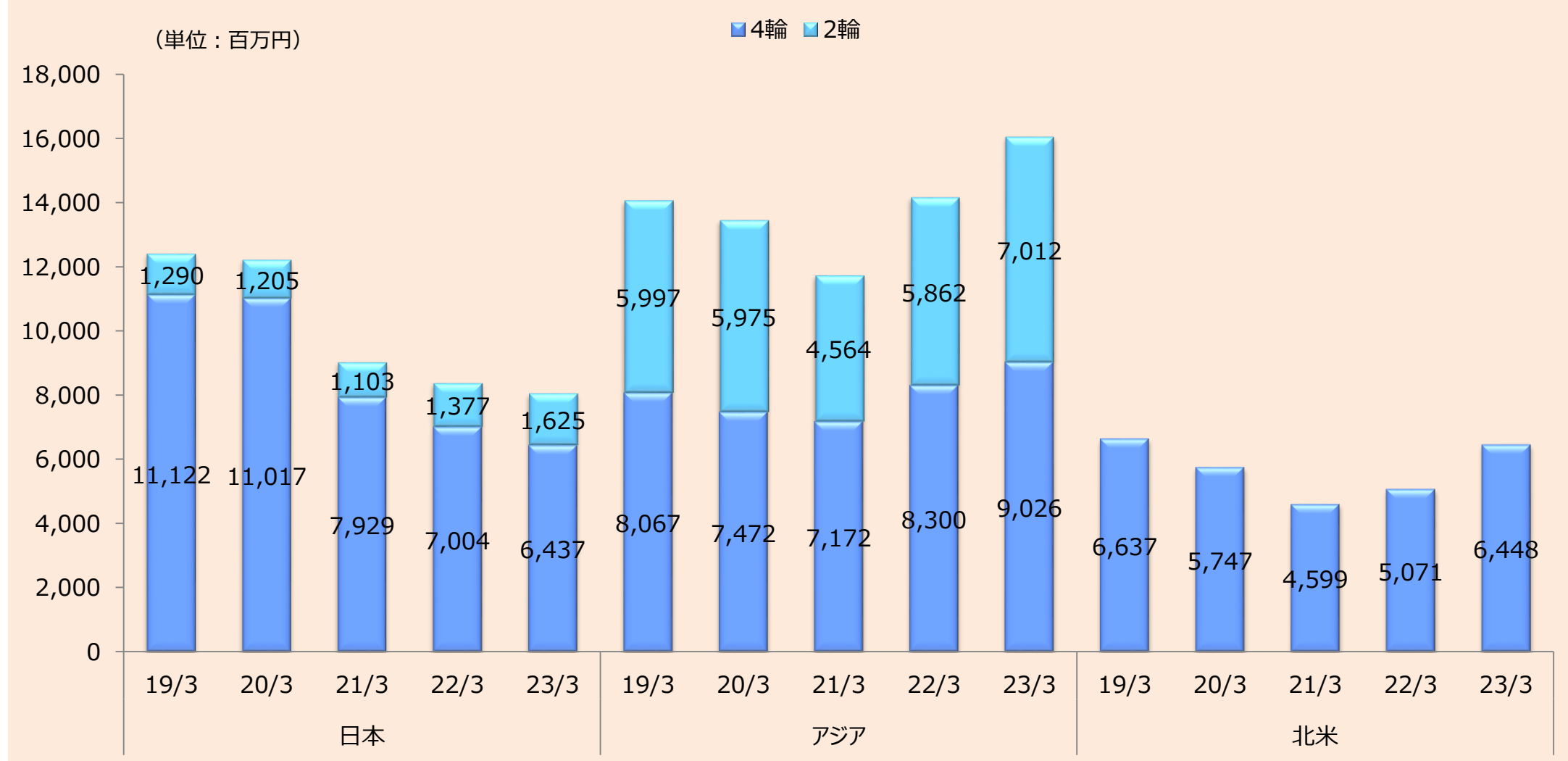
2輪車用エンジンバルブ

(単位：百万円)



注：連結消去前の数値により集計しております。

ご参考：所在地別エンジンバルブ売り上げ動向



注：連結消去前の数値により集計しております。また、欧州（4輪）は省略しております。